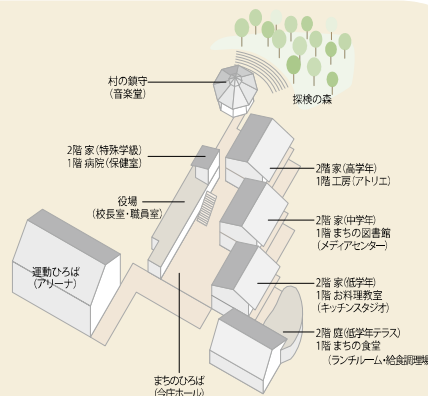


## 木のホール



校舎の中心に設けられた、地域の人も集う今庄ホール。子どもたちと地域住民の交流を育み、地域の目で子どもたちを見守る。

福井県南越前町立今庄小学校



### 【施設利用者の声】

- ・全体が穏やかで居心地がよい。
- ・エントランスホールは、カラマツ林の中で生活している感覚になる。(上) 玄関外観、(右) エントランスホール

長野県川上村立川上中学校



玄関ホールに、町木であるケヤキの柱を設置。伝統技術表現するため、幹の形をそのまま利用した「手斧(ちょうな)削り」で仕上げている。

(上) 玄関付近のベンチ

(左) 吹抜けのエントランスホール (左奥が手斧ケヤキ柱)

栃木県茂木町立茂木中学校

## 木の廊下



木質化された廊下。普通教室と廊下との間仕切りをすべて可動にして、廊下拡張型のワークスペースと一体で活用することで、多様な学習形態に対応できるようになっている。

愛知県名古屋市立植田東小学校 (RC 造)



### 【施設利用者の声】

- ・廊下は、晴れた日に日なたぼっこができるのでお気に入り。

愛媛県伊予市立翠小学校



教室の両面採光を確保するため、廊下の天井を低く抑え、左手にある光庭に、光が入りやすいよう工夫されている。  
天井には剛性を高めるため、鉄骨ブレースが設置されている。

### 【施設利用者の声】

- ・廊下は、歩いていたら気持ちがよくなる。

愛媛県八幡浜市立日土小学校



## 木の階段



旧校舎の改修にあたり、使える材料は再利用している。

埼玉県ときがわ町立萩ヶ丘小学校



愛知県名古屋市長植田東小学校 (RC 造)

愛媛県八幡浜市立日土小学校

## 木を使った教室まわりの空間



富山県滑川市立西部小



間伐材を利用して内装を木質化し、あたたかみのある空間にリニューアル。



## 木のラウンジ



昇降口前に設けられた、木質化されたスクールラウンジ。

【子どもたちの声】

- ・木のおいがして清潔感がある。
- ・あたたかみがあっていい。

愛知県名古屋市立植田東小学校 (RC 造)



幅の広い廊下状の空間で校舎間をつなぎ、ラウンジにもなり、子どもたちの居場所となっている。

愛媛県八幡浜市立日土小学校



内装を木質化し、生徒達のラウンジを整備。地域材を活用した木製家具を備えている。

埼玉県ときがわ町立都幾川中学校 (RC 造)

## 木と畳の空間



埼玉県ときがわ町立玉川保育園



【保護者の声】木の香りがして落ち着いた感じが素敵である。ここで学べる子どもたちは幸せ。

愛知県名古屋市立植田東小学校 (RC 造)

## 丸太の空間



樹齢 65～95 年のスギ丸太 500 本を通し柱や登り梁に活用。2～4 m おきに連立しているスギ丸太により、特徴的な空間が構成されている。

栃木県茂木町立茂木中学校



学校を支える柱として、町有林のスギが活用されている。2 層吹抜のホールには直径 50cm、長さ 10～12m の磨き丸太 11 本が使用されている。

福井県南越前町立今庄小学校

## 掲示しやすい木の空間



東京都杉並区立荻窪小学校 (RC 造)

埼玉県ときがわ町立萩ヶ丘小学校

内装が木材であると、画鋏でどこでも簡単に掲示が可能で掲示の自由度が高まる。吊して掲示することもできる。



## 伝統工法を採用した木の空間



宮城県栗原市立一迫小学校

伝統的な木組みをアレンジした木の昇降口。  
学校にとってモニュメンタルな空間となっている。



高知県立中芸高等学校

伝統的な木組みを生かした武道場。



日本古来の井桁組を題材にした井桁工法を採用し、長スパンを実現。

(左) 多目的スペースで合唱の練習

(上) 図書室と井桁天井

栃木県茂木町立茂木中学校

## 木を使った外部空間



愛媛県八幡浜市立日土小学校

(左) ウッドデッキの中庭  
(右) 川に張り出した木製のテラス



山梨県昭和町立押原小学校

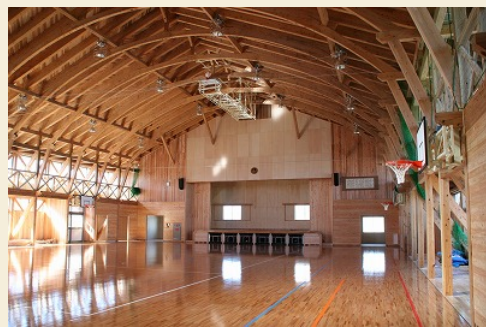
教室に連続したウッドデッキと日照調整の役も果たす木製パーゴラ。

## 木の体育館



秋田県能代市立浅内小学校（トラス架構）

梁は通直集成材を組み合わせて強度を確保。壁にはスギ材の難燃性合板を使用。



大分県中津市立鶴居小学校（アーチ架構）

土台から屋根部分にいたるまで地元産のスギ、ヒノキを使用し、金具の使用を抑えた伝統的な工法で建設。



栃木県茂木町立茂木中学校（トラス架構）

スギの本実加工の無垢板材の横羽目仕上げの上に、スギ板リブ材を貼ることで、均一した強度をもった壁の仕上げを確保。



福井県南越前町立今庄小学校（アーチ架構）

2mピッチで連続するアーチはベイマツとし、つなぎ梁や越屋根のトラスに町有林のスギを使用。



佐賀県佐賀市小中一貫校北山校（RS造・トラス架構）

体育館の床は、強度を上げるため、スギ材の圧縮材を使用。



岐阜県高山市立中山中学校（アーチ架構）

集成材を見せる仕上げとしている。



## 生徒や地域住民が参加した木の学校



ワークショップの様子



サインの絵を描く子ども



放送室サイン



ランチルームのサイン

地域住民も自分たちの町の学校として積極的に利用できるよう、先生、PTA、地域住民の参加するワークショップにより設計を進め、その結果、参加者の思いが詰まった今庄ならではの学校となっている。また、施工期間中には子どもたちが学校のサインづくりに参加し、子どもたちが描いた元気いっぱいのサインで学校中が彩られ、親しみのある建物となっている。

福井県南越前町立今庄小学校



地元のスギ材を活用して、子どもたち、保護者及び学校関係者が協力して校舎の内装木質化を行った。内装工事の際、内装材の裏面に子どもがメッセージを書くことで、校舎に対する思い入れが強くなる。

長野県山ノ内町立北小学校、西小学校